Formula NIPPON NEWS FLASH

第3戦直前情報

Formula NIPPON

Round 3

2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第3戦 2011年7月17日(日) 富士スピードウェイ

www.f-nippon.co.jp

発行人／編集人:
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0047 東京都千代田区九段南2-3-25

Series Partner HONDA TOYOTA

Series Supporter BRIDGESTONE

Series Supporter 人気酒造

Take Free
ご自由におとりください

TEAM IMPULが絶好調!
午前はオリベイラが、午後は平手がトップタイムを記録!!

7月16日(土)、富士スピードウェイ(静岡県)で第3戦の初日が行われた。今大会は日曜のワンデーで予選と決勝が行われるため、土曜日は午前と午後、計2回のフリー走行が実施された。総合でトップタイムをマークしたのは、No.1 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(TEAM IMPUL)、2番手はNo.2 平手晃平(TEAM IMPUL)とTEAM IMPULが上位を独占した。

フリー走行1回目

オリベイラと平手、IMPULが1-2を築く

早朝からくっきりと富士山が姿を見せたこの日、最初のセッションが開始されたのは午前9時15分から。この時点で、気温は29度、路面温度は38度。さらに、グングン暑さは増し、セッション終了時の午前9時55分には気温が33度、路面温度が43度まで上昇した。

ピット出口がオープンされると、まずはルーキードライバーや若手たちが次々にコースイン。続いてほぼ全車がコースに入り、マシンの感触を確かめていく。

一方、セッション開始から10分ほどまで待って、オリベイラや平手、No.36 アンドレ・ロッテラー(PETRONAS TEAM TOM'S)がコースに入って走行を開始。中でも、オリベイラは最初から好タイムをマーク。計測4周目には、1分26秒262を叩き出した。その後、セッション終盤には、No.7 大嶋和也(Team LeMans)、No.8 石浦宏明(Team KYGNUS SUNOCO)、No.32 小暮卓史(NAKAJIMA RACING)、No.37 中嶋一貴(PETRONAS TEAM TOM'S)らがタイヤを交換してアタックのシミュレーションを行なったが、このタイムを上回ったドライバーはおらず、オリベイラは昨日のテストに引き続き、トップを維持することになった。

2番手につけたのは、昨年この富士戦を制している平手。以下、大嶋、ロッテラー、中嶋一貴、No.16山本尚貴(TEAM 無限)と続いている。

フリー走行2回目

平手が最速!これにTOM'Sの2人が僅差で続く

2回目のセッションが始まったのは、午後1時45分から。このセッションが開始された時点では、さらに暑いコンディションとなり、気温は34度、路面温度は52度まで上昇する。そんな中、コースがオープンされると間もなくほとんどのマシンがコースイン。午前中に引き続き、テストメニューを消化して行く。中には、明日の午後に行なわれる決勝を見越して、燃料を積んだ状態でのマシンバランスを確認するチームもあった。

そして、セッション半ばからは、昨日スクラブした(数周してタイヤの表面を削り当たりを出す)だけのニュータイヤを投入して、アタックのシミュレーションを行なうドライバーがちらほら。

ここで平手が午後のトップに躍り出る。その他のドライバーもセッション終盤には、同様にスクラブしたタイヤでのアタックを行なったが、平手のタイムは上回れず。また、No.37 中嶋一貴(PETRONAS TEAM TOM'S)とNo.32 小暮卓史(NAKAJIMA RACING)、No.3 アンドレア・カルダレッリ(KONDO RACING)、No.62 嵯峨宏紀(Le Beausset Motorsport)の4人は、土曜からの公式日程用に支給された4セットのニュータイヤのうち、1セットをこのセッションで使用。最終的な予選タイムアタックの確認を行なった。しかし、いずれも平手のタイムを上回ることなく、セッションは終了。午後は平手がトップをキープし、ロッテラー、中嶋一貴、山本、No.33 国本雄資(Project μ/cerumo・INGING)と続いている。

これに午前中の結果を合わせての総合順位では、オリベイラがトップ。平手、ロッテラー、中嶋一貴、大嶋、山本という結果になった。

言い訳無用の一発勝負!　難しいワンデーレースを制し、チャンピ

Round 3 Fuji　Preview

好調のIMPULとTOM'Sの対決に注目 決勝レースのピットイン戦略も勝敗の鍵に!?

第3戦はシリーズ唯一、予選・決勝が1日で行われるワンデーイベント。そこでまず注目されるのは、午前中に行なわれる予選だ。開始時刻が午前8時10分と早いため、気温・路面温度は低く涼しいコンディションの中でのタイムアタックとなる。エンジンもよく回るはずで、金曜、土曜以上にタイムアップするのは必至だ。その中で、ポールポジション争いの中心となってきそうなのは、TEAM IMPULの2台とPETRONAS TEAM TOM'Sの2台。そこに土曜までセットアップに専念してきた小暮卓史や、富士でも好調を維持している山本尚貴ら、ホンダエンジンユーザーがどう絡んでくるのか。

そして、予選の結果次第ではあるが、決勝での見どころとなるのは、2回義務付けされているタイヤ交換のタイミング。燃料補給に関しては自由ということで、どのチームが給油し、どのチームが無給油を選ぶかというのも、勝敗を左右するキーポイントとなる。前方から軽めのタンクで逃げを打つパターンもあれば、後方からスタートするドライバーの場合は、1周を終えてすぐピットインというパターンも考えられる。その戦略を立てるためにも、まず重要なのが朝の予選。朝から目を離せない1日となるだろう。

Round 3 Fuji　Topic

今大会から始まった“FNサタデーミーティング”

好調なTOM'Sのドライバーふたりと記者が懇談 白井JRP社長が話題の“システム E”の進捗も説明

土曜日の午前には、話題のドライバーらを招いて取材記者との会見を行う「フォーミュラ・ニッポン　サタデーミーティング」が開催された。今回は、6月に行われたル・マン24時間レースで総合優勝したアンドレ・ロッテラー（No.36）と前戦オートポリスで初優勝した中嶋一貴のPETRONAS TEAM TOM'Sのコンビが登場。ロッテラーは、「チーム一丸となって厳しい戦いをしのいで勝てました。僕にとっても大きな自信になりましたし、日本で培った走りで勝てたことで、これまでの努力がムダではないことを証明できました」と語った。また「ル・マン参戦のため、FNオートポリス戦の欠場を許してくれた皆さんには本当に感謝しています」と日本の仲間への感謝もつけ加えた。その欠場したレースで中嶋一貴が優勝し、ポイントリーダーになったことを聞かれると「リーダーは取り返すよ。チャンピオンは狙っているからね」と、笑顔でライバル宣言をした。

今季初参戦し、2戦目で優勝も果たした一貴には、ここまでの感想を聞かれると「たまたま展開に恵まれ、やろうと思った事が上手くもいった。ただ、これからはそうも行かないし、予選という課題もある。それをクリアし、結果を出していきたい。ポイントリーダーは意識してません。前回はアンドレが欠場していたし、これからが本当の勝負です」と極めて冷静に、そして最大のライバルにターゲットを定めていた。

ミーティングの後半は、フォーミュラ・ニッポンを運営するJRPの白井裕社長が登場。話題のハイブリッドシステムである“システム E”の話題となると「東日本大震災の影響で3ヶ月の遅れが出てしまいましたが、8月30、31日に鈴鹿で初のテスト走行を行う予定です」と着実に進んでいることを説明した。このような会見はこれから毎戦行っていくという。

タイムスケジュール（17日）	
8:10≫9:05	Formula NIPPON 公式予選
9:40	Vitz 決勝（8周）
10:40	Formula3 第7戦 決勝（21周）
11:40≫12:25	ピットウォーク
12:50	GTアジア 第6戦 決勝（40分）
14:40	Formula NIPPON 決勝（44周）
17:15≫20:00	東日本大震災復興応援ライブ

POINT STANDINGS　第2戦終了時点

Po.	No.	Driver	Point
1	37	中嶋 一貴	16
2	7	大嶋 和也	12
3	36	アンドレ・ロッテラー	10
4	41	塚越 広大	9
5	32	小暮 卓史	8
6	1	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	8
7	40	伊沢 拓也	8
8	16	山本 尚貴	5
9	18	アレキサンドレ・インペラトーリ	2
10	2	平手 晃平	1
11	8	石浦 宏明	1

1st　No. 1　ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ　TEAM IMPUL

午前はクルマの状態も良かったし、予選は大丈夫

昨日に引き続いてサスペンションのセッティングをいくつかテストをしたし、午後は少しロングランテストもした。その中で、午前中はいい感触だったんだけど、エンジンに問題が発生したんだ。電気系を替えたら直ったけど、まともに走れたのは2周だけだった。一方、午後は、特にリアのグリップを得るのが難しくて。路面とか、色々問題があったね。とにかくバランスが良くない。このセッションでは走り始めた後、1回ピットに入って、そこで昨日から持ち越したタイヤを履いたんだけど、その時もクルマの感触はおかしな感じだったよ。そこでセットアップを少し変えたけど、やっぱりあまり良くなかったから、チームに「ニュータイヤを使うのは止めよう」って。まぁ、午前はクルマの状態も良かったし、予選は大丈夫だと思う。そこからなら決勝に向けても、クルマを進歩させられると思うけど、今日はちょっと方向性を間違えてしまったっていう感じだったよ。

3rd　No. 36　アンドレ・ロッテラー　PETRONAS TEAM TOM'S

決勝仕様は悪くないし、チームと作戦を考えたい

ラップタイムをもっと上げるために、色々と小さなことを試していたけど、この暑いコンディションの中では、なかなか大変だったね。1周プッシュすると、次の周にはもうタイヤが厳しい状態になってしまう。だからセットアップ変更をしても、それが本当にいい方向に向かっているのかどうか、判断するのが難しかった。基本的にはそれほど悪くないと思うんだけど、今のところはIMPULに少しアドバンテージがあるかな。特にセクター3で遅れているんだ。とにかくベストを尽くして、予選はフロントロウに行きたい。決勝仕様の感触は悪くなかったし、チームが作戦のアイデアを持っているから、それも話し合おうと思ってるんだ。

5th　No. 7　大嶋 和也　Team LeMans

周りを気にせず、惑わされず自分たちの仕事をする

クルマのバランスが日曜朝また変わると思い、午後は決勝のセット確認だけでした。予選のセットは午前にほぼ当たりをつけました。それが完璧じゃないけど午後に一生懸命走っても、予選が午前ですしコンディションが変わってハマってしまうのもイヤだし、路面温度も20度くらい違うかもしれない。結果は5番手ですが、タイム差はあまりないし、届かない距離でもないので、焦ってません。周りを気にせずいくだけ。惑わされず自分たちの仕事をしていこうと思ってますよ。ワンデーのレースだから特別ってこともないです。ただ朝が早いでしょう?　何時に起きたらいいかなぁ。今晩は早く寝ないとダメですね（笑）。

オン争いへ名乗りを挙げろ!!

2nd No.2 平手 晃平 TEAM IMPUL

去年は予選2位から、今年はポールから優勝したい

シーズン前のテストがキャンセルになって、幾つか試せていない項目があったので、その確認をしました。去年の冬のデータはあったんですけど、それが夏場に良いか悪いかの比較テストです。あとは去年のいいデータがあったので、今年アップデートした物を付けて、バランスチェックをしました。だから、大きく振ったという感じではないですね。明日の予選は朝早いので涼しい時用のセットアップと、午後は主にレース用のセットアップを試しました。午後は、最初だけ軽い状態での最終的なまとめをやって、その後は燃料を積んで、レース用にしてロングランをしていました。いずれもいいバランスでしたから、作戦面の幅も広がると思います。予選の自信はありますね。今日もセクター3は一番速かったですし、セクター2をもう少し詰めれば、間違いなくポールを狙えると思います。去年は2番手からの優勝だったので、今回はポール・トゥ・ウィンしたいですね。

4th No.37 中嶋 一貴 PETRONAS TEAM TOM'S

タイム的にはもう一歩。でも予選の見通しは明るい

そんなに大きなことはやっていなくて、本当にバランスの確認ですね。今回は持ち込みセッティングが、今までよりロッテラー選手に近い感じのクルマなので、その確認をして、今日も今の状況の中でどれだけタイムを出すかっていうことをやりました。僕にとって一番大切なのは予選なので、ニュータイヤでのシミュレーションもしています。でも、タイム的にはもう一歩かな。ただ、今回は全体的にトヨタ勢の調子がいいので、予選に向けての見通しは明るいかなと思いますし、1周キレイにまとめたい。決勝仕様も少し試しましたが、バランスは悪くないですし、レースについては心配はしていません。

6th No.16 山本 尚貴 TEAM 無限

いい準備ができた。いつもどおりに走るだけです

金曜、土曜で3セッション走り、色んなセットが試せたし、自分もチームも引き出しを作ることができました。有意義なセッションになりましたね。富士はタイム差が接近してるし、レースでも接戦になると思うので、この2日は順番にとらわれず、しっかりとテストをできたことが良かったと思います。日曜は朝から予選、午後から決勝ですが、僕自身はいつもどおりに走るだけですね。予選で、しっかり一発を出すだけのクルマはできているし、ロングランのいいフィーリングもつかむことができたので、明日はすべてを一日でやるというだけで、もう準備ができてますから、いいレースができるんじゃないと思いますね。

Round 3 Fuji フリー走行 1・2 リザルト

1	1	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	TOYOTA RV8K	TEAM IMPUL	F1: **1'26.252** / F2: 1'27.051
2	2	平手 晃平	TOYOTA RV8K	TEAM IMPUL	F1: 1'26.452 / F2: **1'26.282**
3	36	アンドレ・ロッテラー	TOYOTA RV8K	PETRONAS TEAM TOM'S	F1: 1'26.605 / F2: **1'26.348**
4	37	中嶋 一貴	TOYOTA RV8K	PETRONAS TEAM TOM'S	F1: 1'26.676 / F2: **1'26.432**
5	7	大嶋 和也	TOYOTA RV8K	Team LeMans	F1: **1'26.456** / F2: 1'28.261
6	16	山本 尚貴	HONDA HR10E	TEAM 無限	F1: **1'26.689** / F2: 1'26.826
7	41	塚越 広大	HONDA HR10E	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	F1: **1'26.743** / F2: 1'26.750
8	32	小暮 卓史	HONDA HR10E	NAKAJIMA RACING	F1: **1'26.830** / F2: 1'27.133
9	40	伊沢 拓也	HONDA HR10E	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	F1: **1'26.850** / F2: 1'27.347
10	33	国本 雄資	TOYOTA RV8K	Project μ/cerumo·INGING	F1: 1'27.780 / F2: **1'26.986**
11	8	石浦 宏明	TOYOTA RV8K	Team KYGNUS SUNOCO	F1: **1'27.143** / F2: 1'27.889
12	31	中嶋 大祐	HONDA HR10E	NAKAJIMA RACING	F1: 1'27.806 / F2: **1'27.332**
13	10	小林 崇志	HONDA HR10E	HP REAL RACING	F1: 1'28.147 / F2: **1'27.663**
14	3	アンドレア・カルダレッリ	TOYOTA RV8K	KONDO RACING	F1: **1'27.763** / F2: 1'27.918
15	18	アレクサンドレ・インペラトーリ	TOYOTA RV8K	SGC by KCMG	F1: 1'27.977 / F2: **1'27.876**
16	62	嵯峨 宏紀	TOYOTA RV8K	Le Beausset Motorsports	F1: 1'30.205 / F2: **1'28.311**

・シャシーは全車ともFN09、タイヤは全車ともブリヂストン。
＊現在ポイントランキングトップのドライバーに赤いオーバーテイク・ランプ「Leader's Red」が与えられる。

Team Pit

2	1	*	*	37	36		32	31	*	*	41	40		*	8	7	*	*	10		*	18	*	*	33	*		16	*	3	*	*	62		*	*	*	*
34	33	32	31	30	29		28	27	26	25	24	23		22	21	20	19	18	17		16	15	14	13	12	11		10	9	8	7	6	5		4	3	2	1

◀ 1st Corner　　Pit Road

Lap up Formula NIPPON!

佐藤琢磨選手が来訪!

米国最高峰のフォーミュラカーレース「IZOD インディカー・シリーズ」に参戦中の佐藤琢磨選手が来訪! トークショーや場内放送出演などで盛り上げてくれます。

10:15〜10:30 パドックラウンジ訪問
（ピットビルA棟2階パドックラウンジ）
11:35〜11:50 場内放送出演
（サーキットビジョンでも放映予定）
13:20〜13:30 スペシャルトークショー」
（イベント広場内イベントステージ）

東日本大震災復興応援ライブ PRAY FOR THE EARTH 〜WE'RE WITH YOU!

届け! 歌声!届け! メッセージ! フォーミュラ・ニッポン決勝終了後、レーシングコースストレート上で開催!

［タイムスケジュール］ 17:15〜17:35 VAN HEYSAN
17:45〜18:35 SHOW-YA
18:50〜19:40 EARTH SHAKER

サーキットFM 87.0MHz.

マシンのエキゾーストノートで場内実況が聴き取りづらくても、携帯ラジオやFMチューナー搭載のモバイルなどがあれば、観戦ビギナーの方にもわかりやすいレース解説を楽しめたり、レース観戦のお役立ち情報を逃しません!

KT Electoronics KTEL Laboratory

Formula NIPPON'11
モーターエクスプレス
モータースポーツの リーディングペーパー
購読のお申し込みは
0120 0120-026-999
FAX 0120-026-993
http://www.chunichi.co.jp/chuspo/
1ヶ月 2,955円 1部売り 120円
東京中日スポーツ

本紙への広告掲載のお問合せは:
JRP Japan Race Promotion Co., Ltd.
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
03-3237-0131 http://www.f-nippon.co.jp
編集制作: 株式会社サンズ／フォトグラファー: 小林稔、大西靖

チャリティーオークション開催

フォーミュラ・ニッポンは今年の全大会を『東日本大震災復興支援大会』と位置付け、各サーキット、運営団体、各カテゴリーの選手・チーム等の協力を得て「がんばろう!日本」を統一メッセージとして、業界が一体となってチャリティーオークションを始めとする東日本大震災復興支援に取り組みます。
JRPでは、チーム関係者の協力のもと、現在、そして過去にフォーミュラ・ニッポンに参戦していた選手、チーム監督等のお宝グッズや他では手に入らないレアアイテムを募り、チャリティーオークションに出品。今回は、トヨタF1のレプリカパーツが登場します。皆さま、復興支援活動へのご協力よろしくお願い致します。

イベントステージ

イベント広場内イベントステージでは、佐藤琢磨選手のトークショーやチャリティーオークションのほかにも、華やかなギャルオンステージや、お子様にも楽しんでいただける「仮面ライダーOOOショー」など見逃せないイベントが盛りだくさんです!

イベントステージスケジュール（17日）

8:55〜9:10	クレインズステージ（1回目）
9:10〜9:25	ギャルオンステージ（1回目）
9:35〜10:10	FN解体&エンジン始動（1回目）
10:00〜10:45	仮面ライダーOOOショー（1回目）
10:50〜11:10	東日本大震災復興支援チャリティーオークション
11:10〜11:35	FN解体&エンジン始動（2回目）
12:40〜13:00	F3ドライバートークショー
13:00〜13:15	クレインズステージ（2回目）
13:20〜13:40	佐藤琢磨選手トークショー
13:45〜14:30	仮面ライダーOOOショー（2回目）

ピットウォーク

レーシングマシンをもっと間近でみたい!
マシンやレースクイーンを撮影したい!
お昼のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加ください。小学生以下のお子様は無料でご参加いただけます。

※ピットウォーク券は前売販売です。ピットウォーク券（またはピットウォークに参加可能なパス）をお持ちでない方はご参加頂けません。
※4月3日以降にお申し込みをいただきましたお客様のパスにつきましては、引き換え券をご送付させていただきます。レース当日、ピットウォーク専用パスにグランドスタンド下ピットウォークチケットBOXで引き換えをお願いいたします。
※4月2日以前にお申し込みをいただきましたお客様につきましては、送付させていただきましたパスにてご参加いただけますが、レース当日、変更後の日にちの入ったパスへの引き換えもさせていただきます。

2010 Formula NIPPON 総集編 絶賛発売中!

開幕戦・鈴鹿を皮切りに全7戦で繰り広げられた2010年シーズンを網羅したダイジェストに加え、20年ぶりに復活したJAF GPでのフォーミュラ・ニッポンのデッドヒートも収録。J.P.オリベイラ×A.ロッテラー対談や、星野一義監督ほかのスペシャルインタビューなど、コンテンツ満載で好評発売中!
お求めは、J SPORTSオンラインショップ（http://shop.jsports.co.jp/）、その他取扱店で。定価3,980円（税込）

J SPORTS

J SPORTSでは今年もFormula NIPPONを全戦放映をします。サーキットに来場できないファンに、レースの臨場感をお届けします。

決勝 7/17（日）14:30〜17:30 第3戦 決勝 富士スピードウェイ J sports 1
（ハイビジョン・生放送）
決勝再放送 7/18（月）25:30〜28:00 第3戦 決勝 富士スピードウェイ J sports 1
7/22（金）23:00〜25:30 第3戦 決勝 富士スピードウェイ J sports 1
○番組ホームページ： http://www.jsports.co.jp/tv/motor/f_nihon/

「10ミニッツ 〜フォーミュラ・ニッポン2011 ダイジェスト〜 第3戦」
7/27（水）26:20〜26:30 J sports Plus／8/1（月）24:50〜25:00 J sports ESPN ほか

BSフジ

決勝日の翌週金曜日（再放送は翌土曜日）にレースダイジェストを放映します。

フォーミュラ・ニッポン2011 第3戦 富士スピードウェイ
7/22（金）23:00〜23:55［再放送:7/29（金）］
○番組ホームページ： http://www.bsfuji.tv/top/pub/formura2011.html

GyaO!（オンデマンド放送）

決勝終了10日後 24:00〜より配信します。

USTREAMでライブ配信!

予選は無料で視聴可能、決勝のみ有料配信（税込721円）で視聴できます。
○USTREAM: Formula NIPPON／Formula 3／Formula Challenge Japan

フォーミュラ・ニッポン公式ウェブサイト http://www.f-nippon.co.jp

フォーミュラ・ニッポン公式ウェブサイトもリニューアル! 最新ニュースは随時更新。フォーミュラ・ニッポンのことをさらに深く理解できる特集記事や、動画など、レースウィークでなくても楽しめるコンテンツが満載です。

Support races result (top10)

全日本F3選手権 第6戦 決勝結果

Po	No	Class	Driver	Machine	Time/Gap
1	50	C	関口 雄飛	B-MAX F308	24'31.934
2	12	C	安田 裕信	ThreeBond	- 6.324
3	1	C	蒲生 尚弥	PETRONAS TOM'S F308	-15.109
4	36	C	Richard Bradley	PETRONAS TOM'S F308	- 15.927
5	19	C	西本 直樹	SGC by KCMG	-30.268
6	7	N	三浦 和樹	HFDP RACING F307	-32.120
7	37	N	中山 雄一	TDP SPIRIT F307	-32.768
8	8	N	野尻 智紀	HFDP RACING F307	-33.811
9	23	N	千代 勝正	NDDP RACING	-34.437
10	20	N	Gary Thompson	SGC by KCMG	-37.127

周回:15周／天気:晴れ／コース:ドライ／出走:14台

全日本F3選手権 第7戦 予選結果

Po	No	Class	Driver	Machine	Time
1	50	C	関口 雄飛	B-MAX F308	1'36.136
2	12	C	安田 裕信	ThreeBond	1'36.160
3	1	C	蒲生 尚弥	PETRONAS TOM'S F308	1'36.424
4	36	C	Richard Bradley	PETRONAS TOM'S F308	1'36.439
5	5	C	山内 英輝	PLANEX/ハナシマ F308	1'36.608
6	8	N	野尻 智紀	HFDP RACING F307	1'37.590
7	37	N	中山 雄一	TDP SPIRIT F306	1'37.746
8	22	N	佐々木 大樹	NDDP RACING	1'38.072
9	19	C	西本 直樹	SGC by KCMG	1'38.116
10	7	N	三浦 和樹	HFDP RACING F307	1'38.287

天気:晴れ／コース:ドライ／出走:14台

GTアジアシリーズ2011 第5戦 決勝結果

Po	No	Class	Driver	Machine	Time/Gap
1	72	GT3	Eddie Yau	Porsche 997GT3R	40'22.631
2	33	GT3	MOK Weng Sun	Ferrari F458 GT3	- 7.574
3	1	GT3	Dilantha MALAGAMUWA	Lamborghini LP560 GT3	-34.522
4	30	GT3	Frank YU	Ford GT GT3	-53.965
5	21	GT3	Kenji KOBAYASHI	Audi R8 GT3	-58.130
6	22	GT3	David LAI Tak Seng	Lamborghini LP560 GT3	-1'03.794
7	2	GT3	Tunku Hammam SULONG	Lamborghini LP560 GT3	-1'21.160
8	28	GTM	Christine CHIA	Porsche 997Cup3.8	- 1Lap
9	16	GTM	Wayne SHEN	Ferrari F430 GT3	- 1Lap
10	11	GT3	Sasha CHU	Porsche 997GT3R	- 1Lap

周回:22周／天気:晴れ／コース:ドライ／出走:17台

GTアジアシリーズ2011 第6戦 予選結果

Po	No	Class	Driver	Machine	Time
1	2	GT3	Tunku Hammam SULONG	Lamborghini LP560 GT3	1'43.502
2	21	GT3	Kenji KOBAYASHI	Audi R8 GT3	1'44.127
3	33	GT3	MOK Weng Sun	Ferrari F458 GT3	1'44.230
4	72	GT3	Eddie Yau	Porsche 997GT3R	1'44.869
5	1	GT3	Dilantha MALAGAMUWA	Lamborghini LP560 GT3	1'44.970
6	30	GT3	Frank YU	Ford GT GT3	1'45.110
7	22	GT3	David LAI Tak Seng	Lamborghini LP560 GT3	1'46.593
8	5	GT3	Samson CHAN	Ginetta G50Z	1'46.727
9	16	GTM	Wayne SHEN	Ferrari F430 GT3	1'47.691
10	28	GTM	Christine CHIA	Porsche 997Cup3.8	1'48.479

天気:晴れ／コース:ドライ／出走:17台

ネッツカップヴィッツレース2011 第2戦 予選結果

Po	No	Driver	Machine	Time
1	13	蓬田 昭男	DjacGYWmヴィッツML	2'17.277
2	1	松原 亮二	GY Racing vitz	2'17.464
3	361	水谷 大介	GY Racing vitz	2'17.644
4	62	デバマン石渡	ネッツ群馬FK光生μvitz	2'17.656
5	34	渡辺 圭介	エボレックスIMGヴィッツRC	2'17.817
6	82	茂古沼 弘将	ゼンリンYHメガウェブVITZ	2'18.277
7	49	常盤 剛史	Djac·GY·ML·Vitz	2'18.278
8	16	北川 晃	ASクムホNヤサカSRVitz	2'18.340
9	520	森井 健太	DjacGYMLELDVitz	2'18.421
10	222	奈良 紀康	TMSC Vitz	2'18.512

天気:晴れ／コース:ドライ／出走:59台

フォーミュラ・ニッポン公式モバイルサイト http://motorsports.ch/fn/index.php

フォーミュラ・ニッポン公式モバイルサイトがリニューアル! 今まで以上に皆様にご満足頂けるよう、動画などの新しいコンテンツも強化。またスマートフォン（全キャリア対応）にも対応致しました。「Formula NIPPONメール」に無料登録すれば、素敵なプレゼント企画など、さらに楽しみが広がります!

＊フォーミュラ・ニッポンオフィシャル携帯サイト（スマートフォン版共通）は、モータースポーツ総合情報携帯サイト「モータースポーツチャンネル」内無料特設サイトとして運営しています。

2011 フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

Rd.1	5/14,15	鈴鹿サーキット	Rd.5	9/3,4	鈴鹿サーキット
Rd.2	6/4,5	オートポリス	Rd.6	9/24,25	スポーツランドSUGO
Rd.3	7/16,17	富士スピードウェイ	Rd.7	11/5,6	ツインリンクもてぎ
Rd.4	8/6,7	ツインリンクもてぎ	SPL.	11/12,13	FUJI SPRINT CUP